

平成26年度地域づくり総合支援事業(サポート事業)執行結果報告書

(県南地方振興局)

(単位:千円)

番号	区分	新規・継続	分野	事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額	事業概要	実施時期	実施場所 (市町村及び場所)	備考
1	活性化枠	継続2	その他	山・水・花ふるさと花街道づくり事業	東河内二区	ソフト	1,072	1,000	<p>集落の活性化を図るために平成24年度に策定した集落等再生計画に基づいて、沿線への桜やつつじの植樹、水量豊富な清水、美肌に効果があるとされる旧湯治場の鉱泉等の整備を進め、各スポットの魅力を向上させ、観光誘客を図り、集落の活性化につなげた。</p> <p>平成26年度は道路沿いのさくら、つつじ植樹等に加えて、滝見台(東屋)の整備を進め、地域住民の憩いの場、さらには県内外からも集客を見込めるような魅力的な観光スポットに整備した。</p> <p>○花街道さくら・つつじ植樹 ○滝見台周辺整備、滝見台(東屋)整備</p>	H26.4.1～H27.3.31	基町	
2	活性化枠	継続3	その他	矢塚地区活性化事業	矢塚区	ソフト	648	647	<p>矢塚地区は、平成22年度に「大学生の力を活用した集落活性化事業」で東日本国際大学生から地域活性化の提言を受けた。 (地域活性化の方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光振興拠点の整備 ・都市交流を行い、定住化につなげていくためのイベント実施 ・地域特産品の研究、開発による地域産業の育成 <p>この提言に基づき、人々が集う花の名所を目指し、集落南西部の森林に、ダリア・ツツジ植栽、遊歩道・展望台整備等を行うとともに、農産物加工による矢塚ブランド開発を行った。</p> <p>また、「矢塚分校跡」を活用し、交流の場づくりを進め、集落活性化のため基町が都会から招致して矢塚地区に移住した「地域おこし協力隊」の協力も得ながら、地域活性化を図った。</p> <p>平成26年度は、引き続き交流拠点としての分校の魅力向上を図るとともに、分校を活用した特産品開発、遊歩道の整備等を進めた。</p> <p>○矢塚分校跡を活用した産品開発 ○希望の森での遊歩道整備 ○集落住民によるダリア植栽</p>	H26.4.1～H27.3.31	基町	
3	活性化枠	新規	その他	「花の里川上」花木植栽事業	花の里川上	ソフト	1,211	960	<p>基町川上四区の西側の丘には小さな段々畑が広がり、隣接する東浄寺と相まって優れた景観を形成していたが、区民の高齢化に伴い耕作放棄地となり、荒れ地が目立つようになってきた。</p> <p>このため、既存の樹木の伐採及び整地を行い、区民の手により花木を植栽し、「花の里川上」として失われた美しい景観を取り戻すとともに、丘を通る小道をウォーキングコースとして整備し、周知を図ることで多くの人々に来てもらい、地域の活性化を図った。</p> <p>○栗林、けやき林の伐採・整備 ○花木の植栽 ○ウォーキングイベントの実施(秋)</p>	H26.7.16～H26.12.14	基町	
計							2,931	2,607				